

好評につき
第2版
刊行!

警察官のためのわかりやすい 刑事訴訟法

第2版

元最高検察庁検事，弁護士
元最高検察庁検事，
昭和大学医学部教授（薬学博士）
元法務省法務総合研究所研修第一
部長・元東京高検検事，弁護士

加藤康榮 編著
城祐一郎 著
阪井光平 著

■ A5判 ■ 並製 ■ 288頁

定価（本体 2,100 円＋税）送料 300 円
ISBN978-4-8037-2493-6 C3032

本書のポイント

元検事の執筆による，刑事訴訟法の今と実務がわかる教科書！

警察官が「よりわかりやすく，コンパクトに」刑事手続を学べるよう，最近の法改正・判例，捜査をめぐる実務の動きを取り入れ，元検事が実務の視点からわかりやすく解説。

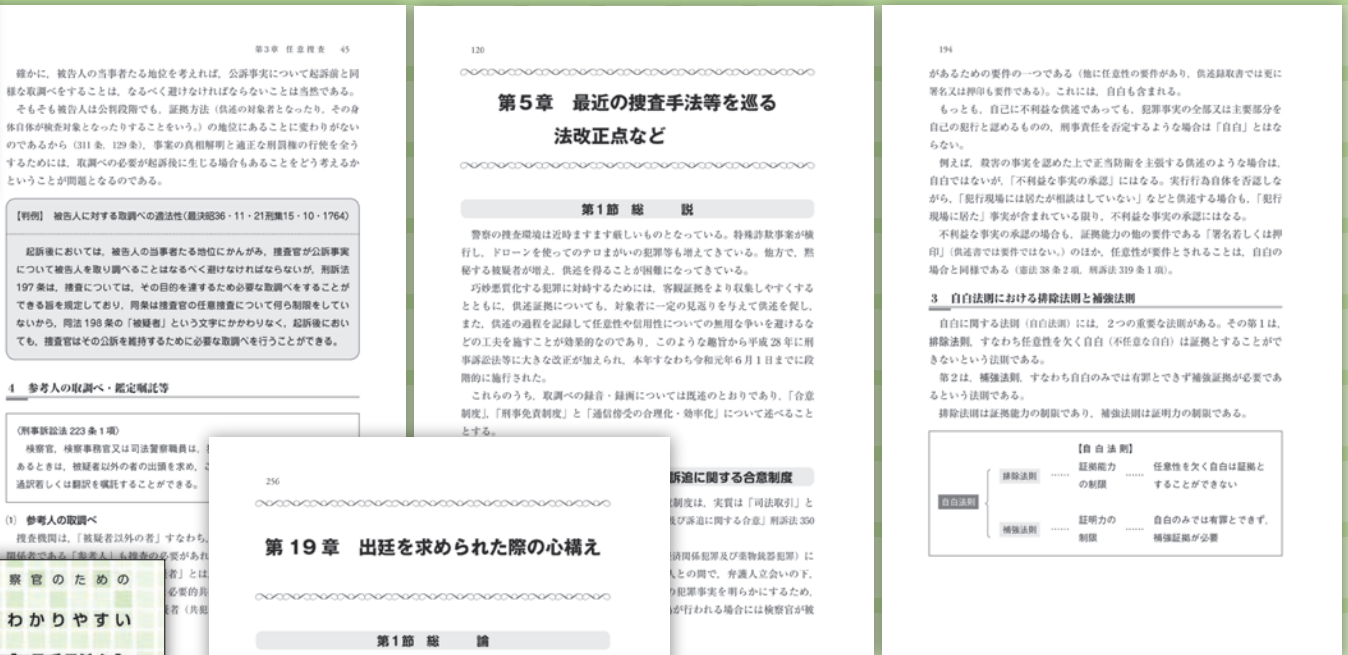
警察官にとって特に重要な「捜査」を徹底解説！

「実務ではどうなっているか」に着目しながら「捜査」に重点を置いて解説しているから，現場で活かせる！「公判」においても，捜査に関連する重要事項や判例は特に詳しく記述。

平成28年改正に対応 & 「証人尋問の心構え」を書き下ろし！

平成28年の刑事訴訟法改正に対応したほか，「証人出廷を求められた際の心構え」について新たに書き下ろし，証人尋問のための準備等について解説。

内容見本



事項索引 判例索引 付き!

事項索引

(あ)

- 足利事件 252
- 意見陳述 173
- 一罪一逮捕一勾留の原則 88, 90
- 一事不再理効 138
- 一事不再理の原則 91
- 一部解除 128
- 一部禁止 128
- 一斉検問 24

判例索引

(大審院)

大判昭3・10・5刑集7・649

大判昭7・10・31刑集11・1558

(最高裁判所)

最大判昭23・2・6刑集2・2・17

最大判昭23・4・17刑集2・4・364

最大判昭23・7・14刑集2・8・846

最大判昭23・7・14刑集2・8・856

目次裏面参照

- はじめに
- 第1章 捜査概観
 - 第1節 捜査
 - 第2節 捜査機関と被疑者・弁護人
- 第2章 捜査の端緒
 - 第1節 総論
 - 第2節 主な捜査の端緒の概要
- 第3章 任意捜査
 - 第1節 刑訴法の規定上の任意捜査
 - 第2節 刑訴法の規定外の任意捜査
- 第4章 強制捜査
 - 第1節 総論
 - 第2節 逮捕
 - 第3節 被疑者の勾留
 - 第4節 逮捕・勾留を巡る諸問題
 - 第5節 捜索・差押え・検証
 - 第6節 逮捕に伴う無令状の捜索・差押え・検証
 - 第7節 第1回公判期日前の証人尋問
- 第5章 最近の捜査手法等を巡る法改正点など
 - 第1節 総論
 - 第2節 証拠収集等への協力及び訴追に関する合意制度
 - 第3節 刑事免責制度
 - 第4節 通信傍受の合理化・効率化
- 第6章 被疑者の防御活動
 - 第1節 被疑者の接見交通
 - 第2節 被告人・被疑者、弁護人の証拠保全
- 第7章 捜査の終結と公訴の提起
 - 第1節 捜査の終結
 - 第2節 公訴の提起

- 第3節 不起訴処分
- 第4節 家庭裁判所送致
- 第5節 その他の処分・付随処分等
- 第6節 不起訴処分に対する不服申立て
- 第8章 公判手続の概要
 - 第1節 公判手続概観
 - 第2節 被害者参加制度
 - 第3節 公判手続と捜査手続との相違点
- 第9章 裁判員制度
 - 第1節 裁判員制度導入の趣旨
 - 第2節 裁判員制度の基本的構造
 - 第3節 裁判員の選任手続
 - 第4節 評議と評決
 - 第5節 裁判員の参加する裁判の手続
 - 第6節 裁判員に対する守秘義務と保護制度
- 第10章 公判前整理手続
 - 第1節 公判前整理手続の意義—制度の趣旨
 - 第2節 公判前整理手続のうちの証拠開示制度の概要
- 第11章 第1回公判期日
 - 第1節 公判廷の構成員等
 - 第2節 冒頭手続
- 第12章 審判の対象—公訴事実と訴因(訴因の意義)
 - 第1節 訴因制度の導入
 - 第2節 訴因の特定
 - 第3節 訴因の拘束力
 - 第4節 訴因の構成
- 第13章 証拠調べに関する公判手続
 - 第1節 冒頭陳述
 - 第2節 証拠調べの請求
 - 第3節 証拠の採否決定と取調べ
 - 第4節 職権等による証拠調べ
 - 第5節 被告人質問と被害者等の意見陳述

- 第14章 証拠調べ終了後の当事者の意見陳述
 - 第1節 検察官の論告・求刑—「論告要旨」
 - 第2節 被告人・弁護人の最終陳述—「弁論要旨」
- 第15章 証拠法概観
 - 第1節 証拠裁判主義—証拠能力
 - 第2節 自由心証主義—証明力と証拠能力の異同
 - 第3節 違法収集証拠の排除法則
- 第16章 自白法則
 - 第1節 総論
 - 第2節 自白の排除法則
 - 第3節 自白の補強証拠(補強法則)
- 第17章 伝聞証拠
 - 第1節 伝聞法則の原則
 - 第2節 伝聞法則の例外
- 第18章 供述調書等以外の証拠
 - 第1節 総論
 - 第2節 証拠能力等を検討すべき種々の証拠
 - 第3節 検証・鑑定に類する各種書類の証拠能力
- 第19章 出廷を求められた際の心構え
 - 第1節 総論
 - 第2節 ①の鑑定書の場合
 - 第3節 ②の実況見分調書の場合
 - 第4節 ③の被疑者の供述調書の場合
 - 第5節 ④の報告書の場合

事項索引

判例索引

FAXでのご注文は、切りとらずにそのままご送信ください。FAX 03-3233-2871

申込書

*警察官のためのわかりやすい
刑事訴訟法〔第2版〕

合計 _____ 部

ご所属名	庁	道府県
		(署・隊・課)

ご担当者名

(TEL: _____)

係名	氏名

係名	氏名

(ご記入いただいた個人情報は、購入申込み及びそれに伴うご連絡・弊社図書ご案内に利用させていただきます。)

*お申込みは合計部数だけでも承ります。



立花書房

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-2
TEL:03-3291-1561(代表) <http://tachibanashobo.co.jp>